



江指城



中学校校庭に隣接する城跡丘陵

所在地：石川県小松市江指町
 別 称：山神山砦
 立 地：丘陵頂部、標高61m
 城 主：宇津呂丹波
 時 期：戦国
 見学時間（参考）：約20分

通称城山と呼ばれる丘陵に占地し、大杉谷川と郷谷川に挟まれ北東麓で合流する天然の要害である。登城口前の道路により南方の丘陵とは現在分断され独立丘陵のように見えるが、大正以前は擁壁の高さでつながっていた。向かいの同じ高さに旧峠道の一部が残る。



登城口

郷村名義抄は波佐谷城主宇津呂丹波の家臣餌指某の居所とし、故墟考では宇津呂丹波の別砦とする。当城は波佐谷城と岩淵城を結ぶ街道沿いにあり、伝承からも一向一揆方の城と推定されている。

主郭には石塔や中央に穴のあいた石が数個残されている。江戸期に郷谷川上流に金平金山があり、主郭には金山氏神として山神社があったという。地元では城山を山神山ともいう。主郭周囲には低い土塁状の盛り上がりが見られる所もあり、自然地形なのか、神社建立時の整地で土塁が削られたのか判断が難しい。

主郭周囲の傾斜は急峻であり見晴らしも良いことから、眼下の街道や水運を監視するには適地であり、物見や繋ぎの城であったと推測している。



主郭



北麓を流れる大杉谷川



七重の石塔



虎口と推定する付近の土塁



東側斜面に残る豎堀

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
 北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
 〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
 TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
 E-MAIL. contact@j-sampo.com
 ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>